

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス そらのわ		公表日		2025年 3月 31日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	*発達支援室での活動を中心に、活動の内容によってホール等の部屋を使い分けております。	*学年や障がいの状態に応じて、環境を配慮していくようにしていく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3		*一人の子どもの不安定な様子の時は、1対1対応になるため、精神的にゆとりがなくなる時があるので工夫が必要である。 *特性に応じた個々への対応を図るため、スタッフの人数を確保する。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	5	*玄関に段差があるため、脱着式のスロープを使用しています。	*玄関のバリアフリースロープの新設及びトイレ入り口も車いす使用に改善が必要である。 *ユニバーサルデザインによる表示の工夫が必要である。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	1	5	*使用頻度の高い発達支援室とホールについては、定時で換気、状況を見ながら取っ手等をアルコール・塩素系消毒液などで拭き、感染予防等に心がけております。	*その都度、感染予防のための工夫をする。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	3	*目的によって部屋を使い分けております。	*使用できるようになっているが、見守りが必要であることから、十分に活用できているとは言えない。 *職員配置を工夫していく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		6	*随時、『職員打合せ』を実施し改善に努めております。	*勤務時間の違いにより十分とは言えないので、共有できるように工夫する。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	*『職員打合せ』で評価表の内容を共有して、出来ることから始める意識をもって、改善に努めております。	*アンケートの実施、必要に応じて個別面談を実施する。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	3	*定期的な会議や、日常の打合せで話し合いながら改善に繋げています。	*把握する機会を設けるべき。 *定期的な会議だけではなく、ミーティングを実施していく。 *その都度、意見等があれば上司へ報告していく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	*第三者委員は委託しておりますが、日頃の支援の充実と、常に振り返りと点検を徹底できるように努めております。	*今年度は、実施していないので、次年度は実施する。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	*事業所内の年間研修計画を設定し、外部研修におきましても、受講の機会を確保し、その後に事業所内で伝達研修を開催しております。	*定期的に研修会を行う。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	1	4		*適切とは言えないので、計画的に行っていく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	2	*利用開始に向けての相談等によるアセスメントとモニタリング、相談支援専門員との担当者会議などを踏まえて作成しています。保護者との随時の面談や、学校との連絡会や送迎時の情報交換を活用して作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	3	*随時開催する『職員打合せ』やケース検討等で目標や情報を、確認・共有しながら支援しております。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	4	*随時開催する『職員打合せ』やケース検討等で共有しながら支援しています。	*支援計画をもとに子どもの支援を行い、考察する時間を定期的に持つようにする。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	5		*十分とは言えないので、定期的に確認すること。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	4	*放課後等デイサービスガイドラインの基本理念や5領域を踏まえた上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）を作成しております。	*具体的な支援内容までの設定に至っていないように感じる。更に勉強していく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	1	4	*担当者が日案（活動プログラム）を作成して、チーム又は個別等で取り組んでおります。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	1	4	*活動内容によっては、外部講師を依頼して変化をつけております。	*同じ内容が繰り返されてることもあるので、その都度、見直していきたい。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	*一人一人の興味関心や特性を考慮して、状況に合わせてながら、全体・小集団等で活動を実施しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	*日案作成後に、確認しながら活動を進めています。	*時間まで出勤している職員も共有できるよう計画表を活用していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	5	*日案の様式の下部に、反省点や振り返りの欄を設けて、活動の課題抽出に務めております。	*個々の振り返りや反省はあるが、全体としての共有には繋がっていないので、工夫していきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	3		*支援の検証の方法について、検討しなければならない。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	3	*定期的にモニタリング、家族からの依頼や必要に応じて面談を行いながら、見直しをして適切な支援に務めております。	十分とは言えないので、見直し後の共有に務めたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	1	5		*複数の組み合わせは、課題として取り組まなければならない。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	1	5	*日常生活・活動に選択を必要とする場面においては、一人一人に自己決定を大切にしながら進めております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		*『職員打合せ』で評価表の内容を共有して、できることから始めるという意識をもって、改善に務めております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	*連携する会議には出席し、医療的アプローチが必要な時は看護師を中心として、連携して支援しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		*学校らの情報（年間・月間予定表等）をもとに連携に心がけ、送迎時に向う情報も共有しながら、送迎時間等を連絡調整しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3		*就学前の幼稚園等各種事業所との情報交換は、ほとんどできておらず今後の課題としなければならない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	4		*まだ経験や実績がありません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		*隣接する中学校との交流会を実施したり、高校生のボランティアの受入れての交流や雰囲気づくりに務めております。	*学童クラブとの交流はないが、近隣中学校との交流は実施している。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	*事業所設立後から担当者が参加しております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	*送迎時（受入・引渡し）に様子を伝えたり伺ったりしています。必要に応じて児童発達管理責任者が面談を実施して共通理解に努めております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		*家族を対象とした研修等を実施したという実績はございません。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	2	*利用開始前の契約の際に、説明しております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1	*随時、面談や電話にてご家族の意向を伺っております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		*放課後等デイサービス計画（個別支援計画）は、書面にて提案し確認の機会を設けております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1	*開かれた事業所を目指し、随時、電話や対面による相談や助言を行っています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3		*現在のところ設けていない。今後、考えていく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	1	*事業所内の苦情受付の体制は整えています。また、苦情等に関する行政機関についても説明をしております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		*通信は、事業所として1回/月、法人としては不定期にて発行し、内容によってはHPを活用しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		*個人情報の取り扱いについては、十分な理解と周知をし、同意書にて意向を確認させて頂いております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	2		*できる限り行っているが、不十分さはある。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		*法人主催の行事には、地域の方々に案内をし、地域の行事については、法人としてできる限り参加・出席しております。	*法人主催でフェス（夕涼み会・クリスマス会）を地域を巻き込んで開催している。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	4		*作成はしているが、充分とは言えない。 *保護者への説明についても不十分なので、今後の課題として考えていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	1	4		*作成はしているが、充分とは言えない。 *保護者への説明についても不十分と思われる。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	2	*利用契約の際に、てんかん発作調査票をお渡しし確認に努め、具体的な対応については、看護師を中心に医師の指示書の確認やフローチャートを作成して対応に務めている。	*情報は集めているが不安な部分もある。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1		*保護者からは調査票により確認しているが、医師等からの指助言・指導機会は設定していない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	2		*充分ではないが会議等で共有している。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	3		*充分な説明となると不十分な点もある。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	2	*事故やヒヤリハットのについては、その都度報告を求めて、『職員打合せ』・職員会議や運営委員会で議題として取り上げ、再発防止に務めております。	*ヒヤリハットの考え方・捉え方に個々の違いがある。 *どのような再発防止を検討しているのか分からない。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			*外部研修に参加してその伝達として、事業所内でも会議・研修に活用している。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	*バギー車・車椅子乗車の際のベルト装着については、個別支援計画に記載している。	*身体拘束のケースはない。	